

保育おおさか

平成20年4月1日 第392号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

地域住民の相談窓口としての役割期待

保育部会の新事業

地域貢献事業の人材養成研修に157名参加

保育部会が全国に先駆け立ち上げようとしている新事業「地域貢献生活サポート事業」の直接の担い手である相談員を養成する研修が3月17日、27日の両日開催され、157名の育児相談員が受講、2日間にわたる集中講義に真剣に取り組みました。

地域貢献事業準備委員会の熊井茂治委員長は開講にあたり、保育部会が取り組む新事業で、現在育児相談で行われている内容をさらに発展させた形と強調、地域に密着する保育園が子育て家庭だけでなく、地域住民の相談窓口となることへの期待を表明されました。

気軽に訪問しやすい場

続いて同準備委員から「地域貢献事業とは」をテーマに今後、展開される地域貢献事業について説明。核家族化や高齢化の進展による自治会の組織力の低下など地域社会の変化に、相談相手がなく孤立している人々が増えています。現在、さまざまな窓口で相談業務が

行われているが、訪問しやすく、もっと気軽に相談できる窓口が必要ではないか。

府内の保育園に育児相談アンケートを行った結果をみても、育児や子育て以外の問題が関係していたケースが相談件数の半分以上という結果が出ています。

研修重ね適切なつなぎを

一方、相談を受けた側が苦労していることもわかりました。相談に対応する育児相談員の情報や知識が不足しているためです。保育園で相談員がすべての問題を解決することが不可能なのは当然ですが、すでにカウンセリング技術を習得された育児相談員がさらなる研修を積むことで、問題解



157名が参加



熱心に聴き入る参加者

決の糸口となる適切な機関へのつなぎをすることは可能です。このようなことから、開園時間が長く、場所も周知されている保育園で地域のさまざまな相談を受けることが保育園の地域貢献につながると考えています。

今回の研修は、地域貢献事業の担い手として育児相談員が活動するため、①に欠かせない内容で、②地域福祉の歴史的背景と現状を理解する③地域にはどのような人々が支援を必要としているのか④どのような社会資源や制度が存在するのか⑤老人福祉施設がすでに行っている社会貢献事業の実例報告—を4つの柱に進められました。

Ⅱ各講義の概略については次号でお知らせします。

(編集委員 N・S)



寝台列車
「銀河」が
「なほ」が
先月、60年
という歴史
に幕を閉じ、
多くの鉄道ファンが最終
便につめかけました。

学生時代、バイトで得た報酬で旅行をよくしたことが懐かしく思い起こされます。往復のどちらかは、決まって夜行列車を利用した安旅行。2等、いや3等だったか、硬くて、狭い寝台列車も若さゆえに苦痛はありませんでした。真夜中の人気がない静まり返った駅を通過する、何分も時間待ちで停車する、この間のゆったりした時間の流れは格別でした。

時代はスピード化、利益優先で、古き良きものが消えてゆく。歴史ある建築物も安全性、利便性ゆえに壊され、心のゆとりと、ほっとする空間が失われていく。子どもの遊びもゲームが主流、戸外で遊ぶ姿を見るのも珍しくなりました。少子化の今、子どもたちに昔の遊びを伝えたい。

(編集委員 I・M)



身につけたい「経験」プラス「専門性」 子どもの知的好奇心に応えよう

—育児相談員認定証フオーアップ研修

育児相談員認定証「フオーアップ研修」が3月14日、大阪府社会福祉会館で開かれ、「現在、幼児教育に問われることと保育の落とし穴」をテーマに武庫川女子大学教授の白石大介氏が講演されました。

子どもの視点に立った
幼児教育を

庭教育の重要性⑥良い生活習慣の定着⑦保育士の専門化—の七つ。

分かりやすくまとめられた論点は①「保育原理」の不在②「保育に欠ける」から幼児教育へ③保育理念の必要性④「保護者のニーズ」から「子どもの視線に立った保育」⑤家

白石氏は「養護原理・教育原理」はあるのになぜ「保育原理」はないのか、これから幼保一元化が進む時代に保育園ではどのように教育するのかなど様々な課題を提議され、保護者のニーズばかりに偏った保育ではなく、子どもの視線に立った幼児教育を考える必要性、また保育園の理念を持つことの重要性について指摘されました。

講師の白石大介教授



家庭教育は子どもにとって一番大切であり、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣、睡眠の重要性、3歳までに善悪のしつけをすること、自他の区別ができるようにすること



80名が参加

自分たちにできることは何かを考える

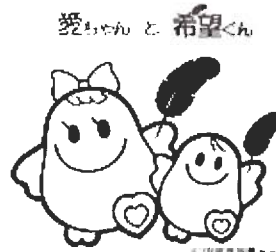
これまで保育士として「経験」が大きな比重を占めていましたが、これからは「経験」プラス「専門性」を身につけ、体力・忍耐力・生活知力・生活技術・学力を磨かななくてはならないと思います。白石氏はまた、デンマークの教育を例にあげ、聴くことの重要性、絵本の読み聞かせの大切さ、自国の文化を取り入れた絵本の活用などによって子どもたちの知的好奇心に応える必要があると締めくくられました。

子どもたちに関わる中で自分たちにまず、できることは何かを考えさせられる収穫の多い研修となりました。



(玉川橋保育園M・T)

大阪府共同募金会 からのお知らせ



平成20年度共同募金配分申請受付

本年も10月から実施される平成20年度(第62回)共同募金運動開始に先立ち、5月1日から5月20日まで、平成20年度共同募金配分申請の受付が始まります。

対象：大阪府内で行う民間社会福祉事業、更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体、社会福祉及びそれに関連する保健、医療、教育等のボランティア活動を行う団体・グループ。

また、昨年に引き続き共同募金運動60周年記念配分として全国共通配分テーマである「安心・安全なまちづくり支援」地域の安心・安全な暮らし

を住民とともにつくる活動の支援」に対する記念配分申請も受付けます。申請受付期間：平成20年5月1日～同年5月20日まで(「ボランティア活動支援配分」「安心・安全なまちづくり支援配分」は5月30日まで)詳しくは4月10日掲載の大阪府共同募金会ホームページ参照。

問合せ先：大阪府共同募金会

06-6762-8717

E-mail: ai-kibou@akaiha-ne-osaka.or.jp (件名に「配分金申請について」と明記してください)
URL: <http://www.akaiha-ne-osaka.or.jp>

【総会の案内】

■保育士会総会

日程：4月24日(木)

時間：午後2時

会場：大阪社会福祉指導センター5階「ホール」

■保育部会総会

日程：5月30日(金)

時間：調整中(午後から)

会場：大阪社会福祉指導センター5階「ホール」

※詳細のご案内は後日させていただきます。

計画的に配置し利用者の利便を 職員体制や事業コストが課題

— 潜在需要に応え「休日保育」を考える —

編集委員会座談会

「保育のまど」は「休日保育」をテーマに、平成19年11月号から20年3月号まで4回（1月号休載）にわたりいくつかの保育園の取り組みなどを紹介しました。「保育おおさか」編集委員会では各保育園の現況を踏まえ、委員による座談会を開催、休日保育の必要性や利用促進への課題について活発な意見交換が行われました。以下はその内容の概要報告（司会・宮武勲編集委員長）

司会 4回にわたり休日保育をご紹介し、その実況などを知ることができました。他園の状況はいかがですか。

A 補助事業で実施している園もあれば、自主事業で行われている園もあるようです。

司会 自園の例でいえば、休日保育を利用される方は月1回程度。普段は親類の誰かがお子さんの面倒を見る、どうしても都合がつかない時に利用されているのが実情。

B 保育士の配置はどうなっていますか。

司会 2名体制です。年間出勤した分は平日に出勤。出勤した分は平日に代休を取る形ですね。

利用の伸びは今ひとつ

D 保護者から休日保育の要望があり、行政はその要望を受けとめ取り組んでいかなければならないというところはよくわかるのですが、実際のところ、需要・利用はそれほど多くはないというのが実情ではないでしょうか。

A 保護者が仕事で休日保育を利用する場合、利用料が問題になります。利用料にかかってくる賃金相当の分が休日保育の利用になると、どうしても二の足を踏む、必然的に利用者は少なくなるというところがあるのではないのでしょうか。

給食提供が可能な立地

司会 キリン保育園（八尾市、2月号掲載）では1日10人前後の利用があると報告されていますが、これは利用数としては多いですね。

E そうですね。利用数が多い理由としては、給食の有無が関わっているのかもしれないですね。キリン保育園は老人施設が隣接していることもあり給食が提供されているようです。保護者のお弁当づくりが負担なら、これはありがたいし、「利用しやすいかな」という気になるかもしれないですね。

F ゆりかご保育園（寝屋川市、12月号掲載）も隣に高齢者のデイサービスがあり、同様に給食が提供されているようです。利用者が多い理由がこれかもしれません。

司会 自園では休日保育の利用数が少ないので、調理員の人数を考えると給食の提供は難しい。利用者の確保ができれば、赤字になってしまいうというコストの問題もあります。

赤字の補填どうするか

司会 休日保育事業の必要性について皆さん、どう思われますか。

B 本来、休日は親と子が一緒に過ごす大切な時間。そういった観点から、休日保育は本当に求められているのかという問題もあります。

G もちろん休日保育を必要とする仕事に従事されている方も多いと思いますが、特別保育事業全体と照らし合わせると、休日保育は必要なのかと、

H ただ、子育て支援という保育園の役割からみると実施しなければいけない事業でしょう。行政としての考え方を持っていない点から広めていきたいという考え方を抱いている。たしかに人件費などのことを考えるとやっというけるのかどうか不安ではあります。

A 事業自体の趣旨は大変良いのですが、事業を行うことで赤字になっていくことは避けたい。その部分の補填は国の役割として考えてもらいたいですね。

市町村に1〜2ヶ所

B 現実に利用数は少ないけれども、ニーズはあるはず。休日保育可能な園を市町村単位で1〜2ヶ所配置するように

計画的に考えてはどうでしょうか。

I その通りだと思います。経営面から考えて、すべての保育園が実施することはできないかもしれないし、他市町村まで行っているところも、困り難いところではあります。

D 社会状況から考えてもニーズが潜在化している部分があるのではないのでしょうか。例えば核家族化の進展で、子どもを

親類などに預けたくても預けられない、離婚率も高くなり一人親家庭が増えている。仕事のために休日保育が必要となる状況は増えているのではないかと考えます。

司会 今後、行政ともよく話し合いながら、保護者の要望に応える保育者としての役割を果たしていかなければならないと思います。本日は貴重なご意見、ありがとうございます。

休日保育事業補助要綱

1. 負担割合 国1/3 府1/3 市町村1/3

2. 実施概要

日曜、祝日等の保護者の勤務等により児童が保育に欠けている場合の休日保育の需要に対応。日曜日、祝日を含め年間を通じて開所。事業実施を担当する保育士として2名以上配置（さらに対象児童に応じて必要な保育士を配置）事業実施主体は市町村（保育所に委託することが可能）

3. 補助額

基本分（年間延べ利用児童数が210人以下）

1ヶ所当たり年額 630,000円

（但し、事業期間が6ヶ月未満の保育所にあつては315,000円）

加算分（年間延べ利用児童数が211人以上の場合、基本分に加え、次の単価を加算）

1ヶ所当たり年額

63,000円	211人以上280人未満	945,000円	700人以上770人未満
189,000円	280人以上350人未満	1,071,000円	770人以上840人未満
315,000円	350人以上420人未満	1,197,000円	840人以上910人未満
441,000円	420人以上490人未満	1,323,000円	910人以上980人未満
567,000円	490人以上560人未満	1,449,000円	980人以上1,050人未満
693,000円	560人以上630人未満	1,575,000円	1,050人以上
819,000円	630人以上700人未満		

ブロックだより

北摂

好感度アップの

マナー学ぶ

—新人保育士研修会—

ブロック保育部会の研修会が3月3日、茨木市福祉文化会館で行われました。1、2年目の新人保育士が参加、「円滑なコミュニケーションを考



参加者同士でシミュレーション

える」「好感度アップのマナーを身につける」と題して槌間勢津先生から

お話がありました。

核家族化や少子化の進行、女性の社会進出の増加、家族や地域での子育て力の低下など保育を取り巻く環境は日々変化し、

保育園への要望も多岐にわたっています。その中

で、多くの保護者と関わり、良好な保育環境を作っていくためにも、コミュニケーション能力が欠かせないというのがポイントの一つ。

相手の気持ちを受け止める表現豊かに会話をするためには、正しい立ち居

振る舞いや言葉づかいが重要と指摘され、電話応対のシミュレーションもあり普段から心がけが大切だと痛感しました。

また「報告・連絡・相談」の重要性など本当に実践できているのか、見直す良い機会となりました。

(玉川橋保育園 F・K)

南大阪

勝つても負けても大満足

—サッカー大会に

約550名の園児参加

保育園をたずねて

360

堺

五ヶ荘保育園

成長に合わせた

育児担当制も

五ヶ荘保育園は堺市の民営化「第二期園」として、平成14年に開園した定員90名の園です。

0・2歳児では『信頼できる大人との関わりを通して基本的な生活習慣を身につける』を目標に、一人ひとりの成長・発達に合わせた丁寧な保育ができるよう育児担当制が取り入れられています。



「園庭にて」

3・5歳児は『主体的な遊びと豊かな体験を通して学び成長する』を目標にされています。子どもたちが主体的に遊べる環境づくりを心がけると

ともに、体育・音楽・絵画などは講師の方を招き、年間を通して無理なく楽しく取り組めるように工夫されています。

そのほか食育活動や異年齢交流など豊かな体験を通して「思いやり」「主体性」「創造力」などが育つことを願い、また保育士が子育てサークルに出かけるなど地域との交流も深められているようです。

(編集委員N・S)

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人

あの人



シュート～！！

終わると、午後からは決勝トーナメント。リーグ戦で負けたチーム同士のトーナメントもあるのが楽しみです。トーナメントは試合時間5分。同点に終わる試合が多く、PK戦で決着をつけました。

すべての試合115試合が終わり、57チームの頂点に立ったチームには特別大きなトロフィーが授与されました。勝った子どもも負けた子どもも大満足の日、保育園生活の最後を飾る良き思い出となりました。

(編集委員N・M)

発行所
大阪府中央区中野1丁目1-5
大阪府社会福祉協議会
保育部会
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 永野 治
編集人 宮 武